



Vol.150
2022年4月号

やらざあ

コロナ禍でも、できることを！ ～子どもたちの安心安全を支える消毒ボランティア～



新型コロナウイルスの拡大で、ボランティアの方々も「何かできることをしたい」という気持ちがあっても、サロンなどの活動が自粛となり、活動の場が失われつつありました。

そんな中、ちの地区こども館から協力の依頼を受けて、地域みなさんが消毒ボランティアとして活動をされています。

はじめは1名でしたが、賛同する地区ボランティアや民生児童委員の方々に参加し、現在は男女合わせて約10名が交代で消毒作業を行っているそうです。

この日は、こども館のメイトさんといっしょに、小さな子どもたちが遊んだおもちゃや小学生が鞆を入れるかご、手すりやトイレなどを消毒していました。来ていたボランティアさんは、「微力ながら、力になりたいと思って、できることをやっている」「小さい子が手にするものだから、安全が一番！」と1つ1つ丁寧に消毒をしていました。



消毒ボランティアや登下校の見守りボランティア、ゆるやかに見守り声をかけてくださるご近所の方など、子どもたちが安全に楽しく過ごせるよう、地域みなさんが支え、応援してくださっています。

コロナ禍でも身近なところでできることがたくさんあります。みなさんもぜひ参加してみませんか！！

仲間と協力して地域・社会の中での役割に気づく

泉野小学校 6年生

4月から学んできたSDGsについて、「SDGs DE 地方創生カードゲーム」を活用して学びを深めました。

このゲームでは、住みよい持続可能なまちをつくることをゴールとし、「子ども食堂の開催」や「伝統野菜のブランド化」「大企業の工場誘致」などのプロジェクトを実行するためには、どのような方法をとるべきかをカードを使いながらみんなで考えていきます。

子どもたちは行政役と市民役に分かれ、なぜこのプロジェクトを達成したいのかをほかのチームに説明しながら交渉したり、「自分たちにはこんな人材がいるよ」「〇〇円持っているから協力できそうだよ！」など声をかけながらゲームを進めていきました。

子どもたちからは、「同じカードをほしいと2チームから言われたので、しっかり話しを聞いて納得できた方に渡せた」「お金の問題や、必要な人材を集めるのが難しかった」と感想があり、みんなの協力により、多くの目標が達成されました。

最後は、泉野版SDGsのアイデアを出し合い、泉野の文化や自然を大切にする気持ちや、お互いに思いやる心を育てることが必要などの大切にすべき考え方ができました。



交流・体験から相手の立場を考える

湖東小学校 5・6年生

湖東地区在住の視覚障害者の方を講師に招き「わくわく講座」を行いました。

令和3年度は“やさしい人になるには？”をテーマに全4回の講座を開き、この講座では点字が付いたトランプを使って一緒に遊び、どんな工夫をしたら障害者の人と一緒に同じことができるか子どもたちに考えてもらいました。

子どもたちからは、「障害者用のモノが増えていったらいいな」「目の見えない人でも楽しめる工夫が難しかった」などの感想がありました。



交流・体験を通して自分で考え行動する力をつける

茅野高校 1学年

聴覚障害者の方を講師に迎え、授業中は参加者全員が一切言葉を発しない「音の無い世界」を再現し、制限されたツールを工夫して「情報」や「思い」を伝え合うコミュニケーション体験をしました。

参加した生徒からは、「聞こえない人にだけでなく相手に伝えたいという気持ちや行動が大切」「どう伝えたら良いか伝え方を考える機会になった」などの感想があり、多様な人とのコミュニケーションについて学ぶ機会となりました。



出前福祉教室での交流や体験を通して、子どもたちはさまざまな気づきを得ています。子どもたち一人ひとりの気づきを大切に、「みんなの『ふだんのくらしがしあわせ』で、みんなが笑顔で暮らすために」自分たちには何ができるか、みんなで考え、行動できる力を育ててほしいという思いを込めて、出前福祉教室を実施しています。

茅野市社協では学校だけでなく、地域や企業、グループなどさまざまな場面で、みんなで「ふくし」について学び、考えるきっかけづくりのお手伝いをさせていただきます。ぜひご利用ください。

問合せ先
地域福祉活動推進係
73-4431

赤い羽根共同募金へのご協力ありがとうございました

昨年10月から12月まで行なわれた「赤い羽根共同募金」運動では、市民のみなさんをはじめ、企業・学校・団体等から、たくさんの募金をお寄せいただきました。温かいお気持ちと、ご協力に感謝申し上げますとともに、結果をご報告いたします。

令和3年度の募金総額は **7,880,774** 円 でした。

各地区の戸別募金

ちの	1,116,724円
宮川	1,154,037円
米沢	360,542円
豊平	718,167円
玉川	1,278,461円
泉野	282,251円
金沢	388,698円
湖東	352,624円
北山	452,150円
中大塩	195,700円

各地区の法人募金

宮川	436,500円
米沢	87,000円
豊平	205,111円
泉野	91,000円
湖東	308,500円
中大塩	77,000円

その他の募金

ボーイスカウト茅野第1団	45,000円
ガールスカウト長野県2団	32,000円
オギノ・サントリーフーズ	31,404円
デリシア・サントリーフーズ	20,083円
イオングループ各店舗	964円
茅野市社協・各SC	5,060円
街頭募金	9,911円
ガチャ募金	30,800円
その他	115,427円

学校の募金

宮川小学校	米沢小学校	豊平小学校	泉野小学校
金沢小学校	湖東小学校	北山小学校	
長峰中学校	東部中学校	北部中学校	永明中学校
合計			85,660円



令和4年度

「ボランティア・市民活動助成金」 申請団体・グループを募集します!

「ボランティア・市民活動助成金」は、みなさんから寄せられた赤い羽根共同募金の配分金を財源としています。

これから活動を立ち上げたいグループや引き続き助成金を希望するグループは、交付要綱をご確認の上、ご応募ください。

**今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、説明会は開催しません。
助成金に関するご相談は、下記までご連絡ください。**

・助成対象

自主的に地域福祉活動を行うグループ・市民活動団体が茅野市民を対象に行う事業を対象とします。助成対象となる団体・事業・経費等の詳細は、交付要綱でご確認ください。行政区単位の事業も対象になります。

・募集期間

4月11日(月)～5月9日(月) 午後5時30分まで
※土・日、祝祭日は除きます。
※締切りを過ぎた申請は、受け付けることができません。

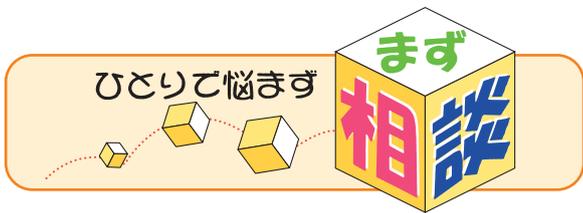
・申請手続き

交付要綱・交付申請書は、茅野市社協窓口でお渡ししています。
また、茅野市社協ホームページからダウンロードすることもできます。
交付申請書に必要な書類等を添え、茅野市社協窓口へご提出ください。
申請に必要な書類等については、交付要綱でご確認ください。

・問合せ先

茅野市社会福祉協議会 地域福祉活動推進係 ☎73-4431





人生には様々な悩みがあります。

「誰にも相談できない」

「どこに相談したらよいかわからない」

そんなときは、まず社協にお電話ください。

すべての相談会場は

社協相談室(茅野市ひと・まちプラザ2階)になります。

☎73-4431

心配ごと相談

どんなことでもご相談ください。

毎週金曜日 午前9時～正午

相談員：社協職員

結婚相談

結婚を望まれる方の相談

毎月第1・3土曜日 午後1時～午後4時

毎月第2・4金曜日 午後6時30分～午後8時30分

相談員：結婚相談員

司法書士の法律相談(予約制)

身近な法律に関する相談

毎月第2水曜日 午後3時～午後5時

相談員：司法書士

ご寄付ありがとうございました

令和3年12月1日～令和4年1月31日まで

(順不同、敬称は省略させていただきます)

【寄贈】

ろうきん茅野支店 運営委員会

缶詰、レトルト食品等 125品 19.7kg

【寄付金】

諏訪友の会 10,000円

茅野ライオンズクラブ 60,000円

茅野レオクラブ 11,000円

株式会社 三井の森 200,000円

SUWA オプトロニクス労働組合 9,358円

ちのせいぼ幼稚園 30,000円

みなさんからいただいたご寄付は、社協運営事業、ボランティア活動

の支援等にも使われています。

※この他にも匿名で多くの物品やご寄付をいただいております。

社協広報紙 **やらがま** Vol.150

2022年4月号

発行/社会福祉法人 茅野市社会福祉協議会

編集/やらがま編集委員会

〒391-0002

茅野市塚原2-5-45 茅野市ひと・まちプラザ2階

TEL (0266) 73-4431 FAX (0266) 73-8030

URL : <https://sharara.or.jp>

E-mail : support@sharara.or.jp

読者の声

● コロナ禍で窮屈な生活をしています。趣味の練習も「休止」となり、少しストレスが溜まっています。早く、通常の生活がしたいですね。
(玉川 70代 男性)

● 今年は7年に一度の諏訪の御柱の年です。しかし、今現在新型コロナウイルス感染拡大が顕著になりました。こんな時こそ、みんなで手指のアルコール消毒やマスクの着用を徹底し、ウイルスと上手に付き合いながら乗り越えましょう。そして、待ちに待った御柱祭を無事に開催できることを祈ります。
(宮川 50代 女性)

● コロナを終息させて是非御柱祭を成功させましょう。
(中大塩 男性)

● 茅野市がもっと良くなるように皆でがんばりましょう!
(玉川 60代 男性)



今回のクイズ

ありなしクイズ

「ある」方に共通するのはな～に？

ある	なし
昭和	令和
山	川
みどり	あか
海	空
こども	大人

応募要領

クイズの答え、住所、氏名、年齢(年代)、電話番号に社協へのご意見、ご要望、やらがまの感想、つぶやきなど一言添えて社協(やらがま編集委員会)までお送り下さい。ハガキや封書の他、ホームページのお問い合わせフォームからも応募できます。正解者の中から抽選で3名の方に図書カードを差し上げます。

応募締め切り 令和4年4月6日(水)

前回のクイズの答え 式年造営御柱大祭

当選者

小口清美さん(ちの) 林 民雄さん(玉川)
牛山 勝さん(玉川)

当選された方には図書カードをお送りいたします。

ご応募ありがとうございました。



社協広報紙 **やらがま** の発行にはみなさんの社協会費と共同募金が使われています。